



國家圖書館 編

東亞同文書院 中國調查手稿叢刊

153



國家圖書館出版社

六月三日

六月三日
風も静まりて今日は静かな朝
ちと奥平を太陽が出てくると
とハナリと息を吐いた。今日
かとした。

六月四日

國家圖書館
編

東亞同文書院
中國調查手稿叢刊

153

第一五三冊目錄

昭和十年（一九三五）調査報告（第三十二期生）

綏中縣、興城縣調査

綏中縣、興城縣調査 本多實 佐藤隆保 雄城要

金川縣、輝南縣事情

金川縣、輝南縣事情 田原竹市 下柳田英造

伊通縣調査報告書

伊通縣調査報告書 芝寛 角田次郎 岡秀雄

平泉縣

平泉縣 福田克美 服部文彦

第一卷……………一

第二卷……………一九七

第三卷……………四四七

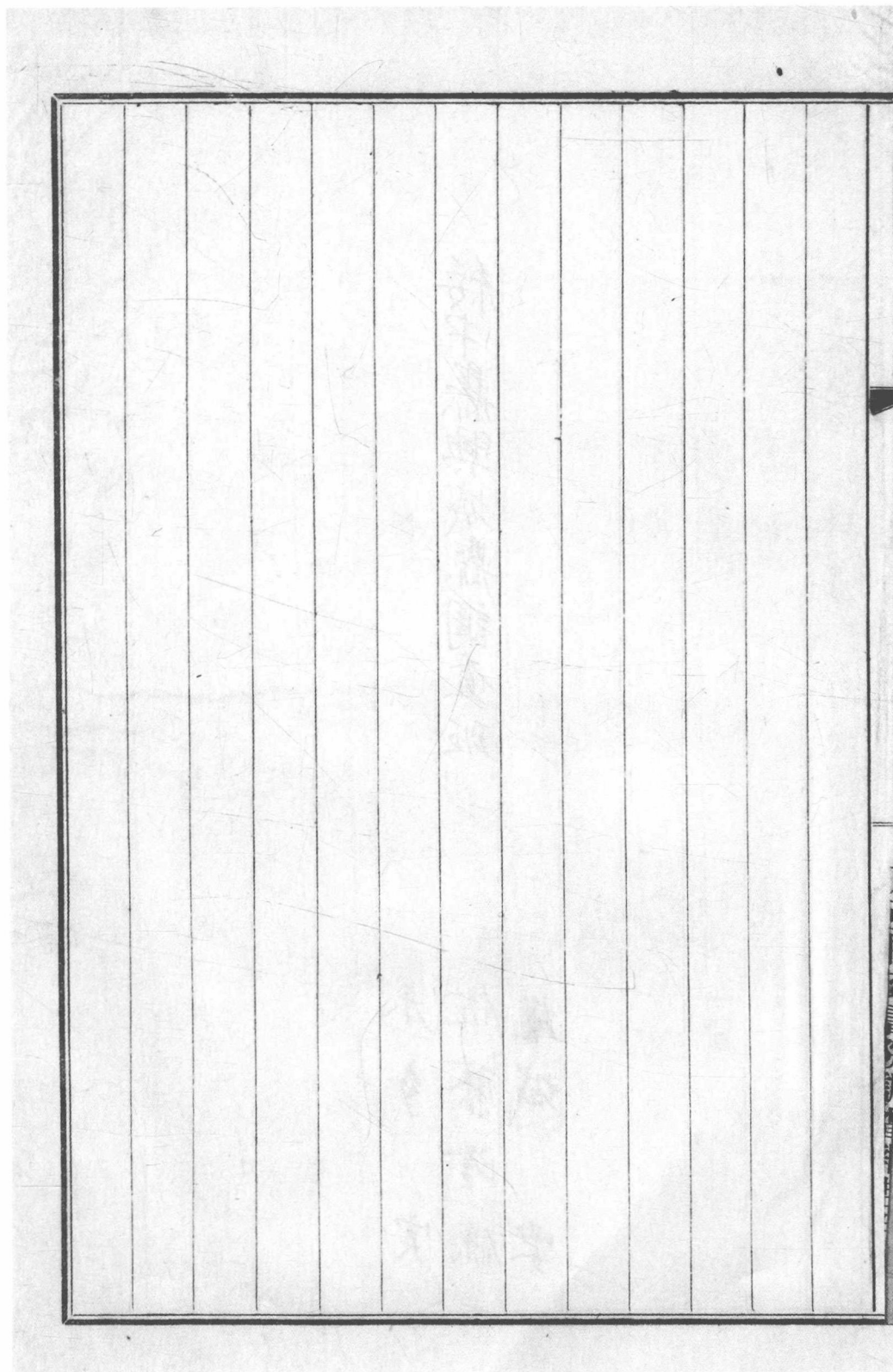
第四卷第一編……………五八五

安中縣興城縣調查班

木多 実

佐藤隆保

雄城 要



綏中縣細目

第一章 綏中縣概況

第一節 地勢及境界 一頁

第二節 交通 二頁

第三節 物產 四頁

一、農業 五頁

二、工業 八頁

三、鉍業 一〇頁

四、牧畜業 〃

五、林業 〃

六、鹽業 一一頁

七、漁業 〃

第四節 牧畜及家畜 一二頁

第五節 人口及民族

一五頁

第六節 惡社會

二〇頁

第七節 教育狀況

二一頁

第八節 宗教

二八頁

第九節 人民、厚生狀況

三一頁

一、治安、狀況

二、保健衛生狀況

三七頁

三、公共設備

四、救濟現狀

三八頁

第十節 商業概況

三九頁

第十一節 金融及通貨

四〇頁

一、金融概況

二、貨幣及度量衡

四六頁

第三節 中縣主要都會

第一款 綏中

四八頁

一、地位及沿革

二、市街狀況

四九頁

三、氣候

五〇頁

四、人口

五一頁

五、市街交通機關

五五頁

六、通信機關及其他機關

〃

七、新團雜誌

五七頁

八、商業

五八頁

第二款 前衛

七〇頁

第三款 前所

〃

第四款 東羅城

七一頁

第五縣風名所地

七三頁

以上

興城縣組目

第二章 興城縣概況

第一節 地勢及境界

一頁

第二節 交通

二頁

一、鐵道

三頁

二、水運

〃

三、陸路

四頁

第三節 物產

八頁

一、農業

〃

二、工業

二〇頁

三、鑛業

二五頁

四、牧畜業

二九頁

五、林業

三三頁

八、鹽業

三五頁

卜、漁業

三八頁

第四節 人口及民族

四五頁

1. 民族分布狀況

2. 人口靜態的觀察

四八頁

3. 人口動態

五二頁

第五節 惡社會

五四頁

第六節 教育狀況

五五頁

第七節 宗教

六一頁

第八節 人民厚生狀況

六三頁

1. 治安狀況

2. 保健衛生

七二頁

3. 公共設備

七三頁

二、救濟狀況

七四頁

第九節 商業概況

七五頁

第十節 金融及通貨、度量衡

八三頁

一、金融機關

八四頁

二、通貨制度

九〇頁

三、度量衡

九一頁

第十一節 興城縣主要都會

第一節 興城

九三頁

一、地位及沿革

二、市街狀況

九四頁

三、氣候

九五頁

四、人口

九六頁

五、市街交通機關

九七頁

通信機關及其他機關

九八頁

新園雜誌

一〇〇頁

第二^款沙^次御^工所^業

一〇五頁

第三^款釣^魚台

一〇六頁

第四^款新^台門

一〇八頁

第五^款白^石咀^門

一〇九頁

第六^款梨^樹溝^門

〃

第七^款縣^風名^所地

一一〇頁

以上

互同地圖
海東亞
文書院
書館印

第一章綏中縣概況

地勢及境界

ハ隣國タル中國ヨリ、滿洲國、咽喉ニ當リ奉天省、最
ヨリ、西ハ万里、長城ヲ以テ中華民國、國境トシ、北ハ熱河
省ニ接シ南ハ渤海ニ臨ミ東ハ六股河ヲ隔テ、興城縣ト界ス。
而シテ縣ノ北部ハ熱河省境ニ接シ山岳重疊シ鐵道沿線附近
ハ稍々平坦ニシテ地味肥沃農耕ニ適ス。

山脈、大ナル物トシテハ義縣ヨリ起リ医坐閣山脈ニシテ該縣ト熱河
省境ヲ北ヨリ西方ニ走リ大小無數ノ山谷アリテ交通至難ナリ。其
他縣内ノ主ナル山岳トシテハ才四區管内地圖参照ニ海拔百八十
尺ノ三山アリ。又縣城ラ云ル北方八十滿里ノ地矣ニ石佛山アリ。其他
山名ハ明ナルモノモ医坐閣山脈ニ連ヒ峻岳蟠踞シ一大奇觀ヲ呈ス。
河川ノ主ナル物トシテハ六股河、狗河、新開河、強流河、石河、九江河

等アリテ其ノ源ハ何レモ熱河省凌源縣ニ接シ渤海ニ注グデ居ル
而シテ其ノ最モ至ナル興城縣ト境界ヲナス六股河ヲモ水運ニ利スルニ
ラズ斯フ如ク本縣ハ眞ニ古人ノ所謂「一夫當關萬夫莫開」地勢多
面積ハ約百十七萬畝（一畝ハ百八十五坪強）ニシテ東西約十六里、南北ハ
約十二里ノ範圍ヲテリテ又十区ニ分割シテ居ル。

第二節 交通

該縣ノ交通ハ奉山線ニ依リ東ハ錦州經由奉天ニ至リ西ハ山海關ヲ
經テ北平・天津ニ至ル交通ト至便ヲテんカ熱河省各縣ニ通ル鉄
道ヲ最近國際運輸ノ凌源出張所ニヨリテ自動車運輸開始
サレルニ至レリ。故ニ多少ノ交通ト便利トナリタルモ完備セシ道路ナク冬
期ハ氷結シテ交通至難ナリト言フ。夏期ハ又雨量多ク橋梁損
失シ交通極杜絶スル事サ（有リト言フ、尙海岸ハ六股河口ニシテマ
碇泊シ大連山東方面ニ商不ヲ輸出入スル

1. 鐵道

奉山鐵道ハ縣ノ東面ヲ縱貫シ山海關ヲ經テ北平天津ニ至ル營業狀況極ク良キ方ナルモ運送貨物多ク又豫定線ハ未成線ノ如キ物無シ、各駅間距離ハ綏中ヨリ荒地ニ至ルニ二二華里、

今

前衛

四七〇

南

高台站

六七〇

前所

八七〇

山海關

一二〇〇 (六五料)

錦州 一一八六料。

2. 水運

沿岸ハ遠淺ニシテ水運ニ不便ナリ。六股河口ニ夏季ニ於テ大連灣口方面ヨリ多少帆船往來スル事アルモ冬季ハ凍結シ全ク杜絶スト言フ。尙民國時代ヨリ綏中沿岸ハ船舶ノ出入禁止區域トサレテ居タル故其他ノ船舶ノ出入全クナシト言フ。

寄塔地ト幸ハ大連、天津、塘沽、烟台、安東ニシテ鉄道ト、平
係金ヲ無シ、尚烟台迄、運賃包米毎石一三五元也。

ハ陸路、道路ノ宏キハ三丈、狹キハ一丈二尺ニシテ、比較的交通便利ナリ

自動車、馬車ハ皆從テ通行シ得。左ニ縣道ヲ提記セバ、

縣城ヨリ山海關ニ至ル道路約一〇〇支里（何レモ各縣境ニ至

凌南縣ニ至ル 八〇支里

凌源縣ニ至ル 八五支里

青龍ニ至ル 八三支里

尚熱河省凌源縣及凌南縣、青龍縣トハ貨物輸送ニハ

主トシテ車馬ヲ使用シ、其ノ最モ發ナルハ秋冬ニ期ニ多シト。

第三節 物産

当該縣地方ニ於ケル産業、主ナル物ハ農業ニシテ、牧畜業、工業、
水産業ニ發達シ、未ダ充分ニシテ、礦業ニ至ラハ殆ド其緒ニ就キ、